

令和8年度 第2回 市長定例記者会見

定例会見

日時：令和8年4月23日（木） 11：30～

会見内容

1. 発表事項

(1) 「ぎふ長良川の鶺鴒」新たな取り組みについて

ぎふ魅力づくり推進部(鶺鴒観覧船事務所)

(2) 岐阜市重要文化財の新指定について

ぎふ魅力づくり推進部(文化財保護課)

(3) ワークダイバーシティ事業の広域的な展開について

福祉部(障がい福祉課)
経済部(労働雇用課)

(4) ふるさと納税返礼品・ぎふ長良川花火大会応援席チケットについて

ぎふ魅力づくり推進部(観光コンベンション課)

1-(1)「ぎふ長良川の鵜飼」新たな取り組みについて

(1) 鵜飼観覧船事業市営 100 周年記念ロゴマーク決定

- ・令和 9 年 鵜飼観覧船事業が岐阜市直営となって 100 周年を迎える。
- ・『ぎふ長良川の鵜飼』の魅力発信や、次の 100 年に向けた伝統継承と持続可能な観覧船事業の構築を目指し、官民が一体で気運の醸成を図るため、このたび、地域 DMO である（公益財団法人）岐阜観光コンベンション協会がロゴマークを作成。
- ・日本語と英語で各 4 種類作成
- ・デザイン
鵜飼と観覧船をモチーフにし、「100」を形作る事により、その歴史や文化の不変性を表現
無限マーク（∞）を描くように波模様で包み込むことで、この伝統文化が末永く続くという繁栄の願いを込めている。
- ・基調とする色は、篝火の赤とプレミア感の金色で“華やかさと伝統”を印象づける仕様
- ・岐阜市鵜飼観覧船市営 100 周年記念事業のシンボルマークとして、地域のステークホルダーが実施する各種記念事業での活用を促す
- ・岐阜市の各種広報媒体等、具体的には、名刺やチラシ・ポスター等に使用する予定



モノクロ

金色ベース・白抜きデザイン

モノクロ・白抜きデザイン

金色×深赤

(2) 初夏を満喫！鵜飼早乗りキャンペーンの実施

- ・ 4月24日（金曜）開始
- ・ キャンペーン期間
5月、6月の月曜日から水曜日まで（鵜飼開きを除く）
7月の第1、第2月曜日から水曜日
- ・ 利用条件
乗合船をインターネット予約した方で、1予約につき8名を上限
- ・ 乗合料金
大人 4, 200円から700円を割引した3, 500円
小人^{しょうにん} 2, 100円から300円を割引した1, 800円
- ・ すでに該当期間にインターネット予約をしている方にも適用
先着3, 000名
- ・ 対象の方には、
システム上で割引後の金額に切り替えた上で、**電子メールにより連絡**を行う
- ・ 該当期間外にすでに予約している方についても、**キャンペーンの案内メール**を送付し、
周知を図るなど、**丁寧に対応**

(3) 新高級観覧船完成披露会・内覧会の実施

- ・ 完成披露会
期 日：令和8年5月10日（日曜） 午後3時～
場 所：鵜飼観覧船乗場
・ 除幕、命名式など
- ・ 内覧会
期 日：令和8年5月10日（日曜） 午後3時30分～
場 所：鵜飼観覧船乗場
・ 内覧、試運航など

1-(2) 岐阜市重要文化財の新指定について

1 指定の概要

名称「^{なかしまりょう い き ぶん つけたり なかしま け いっせき ごりんとうぐん}中島両以記文 附 中島家一石五輪塔群」

文化財の種別 岐阜市指定重要文化財（^{しよせき}書跡）

文化財の構成 『中島両以記文』 2巻（所有者：個人）

『一石五輪塔群』 6基（所有者：岐阜市）

① 『中島両以記文』

- ・中島両以は、慶長9年（1604）の生まれ
- ・現在の岐阜市長良を拠点に、尾張藩と結びつき御用商人として活躍した、17世紀の美濃を代表する大商人。
- ・『中島両以記文』は、延宝3年（1675）に両以が子孫に宛てて書いたもの。

【おもな内容】

「中島由来書」…先祖歴代の由緒をまとめたもの

中島家の先祖や彼らが生きた時代背景、
^{てんぶん}天文4年（1535）に起きた長良川の洪水、
齋藤道三公の下剋上、道三公の息子・義龍公の謀反など、
16世紀における岐阜市域の様子や移り変わりを伝えている。

「両以誕生より七拾一歳迄之由来書」…両以自身の一代記

^{じざむらい}地侍（平時は農業に従事する侍）の家系である両以が、
祖父から長良の屋敷と土地を相続し、15歳で家業を継いでから、
武士では無く商人の道を選び、尾張藩の御用商人として成功し、
美濃を代表する豪商となるまでの生涯をつづる。

② 『中島家一石五輪塔群』

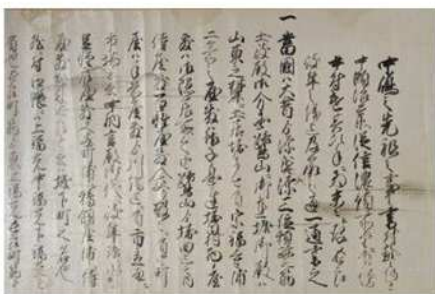
- ・岐阜市長良の中島家の土地に伝わってきた墓石
- ・一石五輪塔は、両以のほか、妻、父、祖父、長男、母と思われるもの 計6基存在。
- ・両以の一石五輪塔には「^{えんぼう よねん}延宝四稔（年）」（1676）の文字
両以が72歳（数え年73歳）で亡くなったことが新たに判明。

岐阜市重要文化財 新指定

『中島両以記文』

「中島由来書」①

「両以誕生より七拾一歳迄之由来書」②



「中島家一石五輪塔群」



なかしまりょうい きぶんつけたり なかしま けいっせき ごりんとうぐん

中島両以記文 附 中島家一石五輪塔群

岐阜市指定重要文化財（書跡）

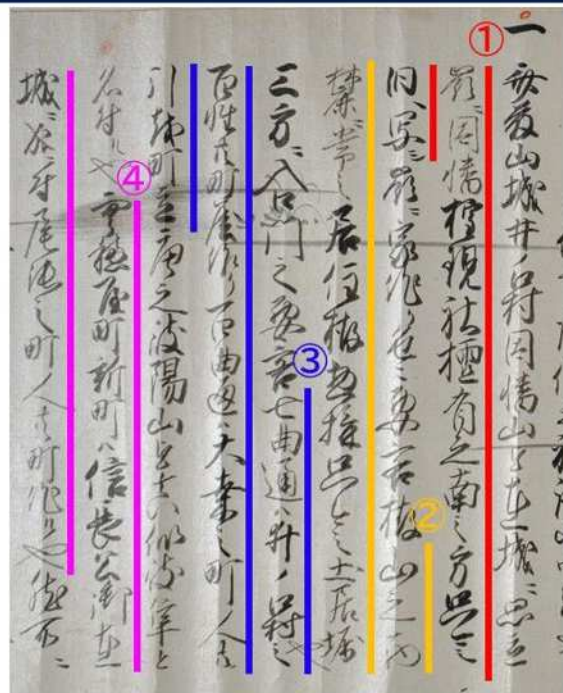
『中島両以記文』 中島由来書（部分）

道三公による岐阜の町づくり

- ① 嶺の「^{いなば}因幡権現」（伊奈波神社）を南方の^{ほら}洞（現在の場所）に移す
- ② 山の西麓に館を建て、土塁と堀を備えた^{そうがほ}総構えを築く
- ③ ^{ななまがりどおり}七曲通に井ノ口村の百姓によって町屋を作り、^{ひやくまがりどおり}百曲通に大桑（山県市）の町人を移す

信長公による岐阜の町づくり

- ④ ^{うつぼ}空穂屋町、^{しんまち}新町は、信長公がご在城になる時、尾張の町人を移し作った



『中島家一石五輪塔群』 中島両以の墓石

南無阿弥陀仏

【戒名】

説岸両以居士
せつがんにりよういこじ



延宝四丙辰稔
えんぼうよんへいしんねん
(1676年)

【没年】

岐阜市文化財審議会委員のコメント

梶 真理子 氏 (公益財団法人 犬山城白帝文庫 主任学芸員)

中島両以は、長良を本拠地として、17世紀初期の政治社会情勢のなかで、武士を捨て商人の道を選んで成功をおさめ、その先祖と生涯を「中島両以記文」として残した。

「記文」は岐阜市にゆかり深い中島家と戦国末から近世初期の美濃の歴史を語る数少ない史料である。また、両以を含む墓石群は、両以という稀有な人物とその家族の足跡を知ることができる貴重な遺物であるといえる。

2 新指定文化財の公開について

- ・令和8年4月29日(水・祝)から6月10日(水)まで
ぎふメディアコスモス2階中央図書館の展示グローブにて、
「中島両以記文」の写真パネルや解説、
中島両以の人物像、岐阜市の郷土史研究の関連図書などを紹介する展示を実施。
- ・実物資料は、今年11月にリニューアルオープンする
岐阜市歴史博物館にて公開する予定。

1-(3) ワークダイバーシティ事業の広域的な展開について

○働きづらさを抱える人々

- ・ 社会には、障がいや難病、ひきこもりなど、様々な理由により「働きづらさ」を抱え、「働きたくても働けない方々」が存在
- ・ 今後の労働力不足が懸念される中、こうした方々が「働くこと」を通じて「居場所」と「出番」を得て、「支えられる側」から「支える側」になって活躍していただくことが大切

○本市の取り組みとその実績

- ・ 本市では、令和4年度から、「多様で柔軟な働き方」であるワークダイバーシティを推進するため、3つの事業を実施

- ・ 「WORK! DIVERSITY実証化モデル事業」は、働きづらさを抱えている方に、障がい者の方々が利用する就労訓練施設を通じて、就労支援サービスを提供し、就労に繋げる事業

- ・ 「超短時間雇用創出事業」は、企業と長時間の就労が困難な方をマッチングして、週20時間未満の短時間の就労を提供する事業

- ・ この他、「テレワークを活用したショートタイムワーク事業」は、出産、育児、介護などで、働く時間や場所に制約がある方に、短時間、テレワークで働ける雇用を提供する事業

- ・ 「WORK! DIVERSITY実証化モデル事業」の実績は、個々の特性に応じたきめ細かい就労支援を重ね、41人の方の就労を実現

- ・ 「超短時間雇用創出事業」の実績は、事業に賛同する企業を開拓とともに、企業とワーカーを丁寧にマッチング75人の雇用を創出し、年々事業が浸透

岐阜市のワークダイバーシティの取り組み

全ての人に働くという居場所と出番をつくるのが人々の幸せに繋がる

多様で柔軟な働き方を実践する3つの事業を令和4年度から開始

- ① WORK! DIVERSITY実証化モデル事業 (日本財団との連携事業)
ひきこもりや生活困窮、発達障害など、働きづらさを抱える方に障がい者が利用する就労訓練の施設で、就労に向けた訓練を実施
- ② 超短時間雇用創出事業 (東京大学先端科学技術センターと研究委託)
障がい者や難病などで長時間の就労が困難な方に週20時間未満の短時間勤務を提供するため企業と求職者をマッチング
- ③ テレワークを活用したショートタイムワーク事業 (ソフトバンク(株)と覚書締結)
出産、育児等の理由で労働時間や場所に制約がある方にテレワークを活用したショートタイムワークを提供

これまでの実績と広域化の経緯


WORK! DIVERSITY実証化モデル事業				超短時間雇用創出事業			
年度	相談件数	サービス利用開始	就労(うち雇用の就労)	年度	相談件数	登録ワーカー	採用者
R4	57件	14人	0人	R4	658件	58人	13人
R5	94	15	10(4)	R5	717	54	10
R6	87	20	16(8)	R6	1,477	66	29
R7	75	23	15(4)	R7	1,355	79	23

※本事業の支援を通じ、ひきこもり等を含む多様な就労困難者41人の就労を実現

※企業とワーカーの丁寧なマッチングにより4年間で75人の雇用を創出し、年々事業が浸透

広域化の経緯

令和7年8月 岐阜市・羽島市・各務原市・山県市・瑞穂市・本巣市・岐南町・笠松町・北方町にて構成される岐阜地域広域圏協議会で賛同

令和8年4月 構成市町と協定を締結  圏域人口 約78万人

○広域化の経緯

- ・本市を含む**岐阜圏域**は、自治体間で、通勤・通学者が多く、**経済的な結びつきが強い状況**
- ・本市の人口は、現在、**約39万人**
本市を含む、羽島市・各務原市・山県市・瑞穂市・本巣市・岐南町・笠松町・北方町の**6市3町**で構成する**岐阜圏域**の人口は、**約78万人**と、**約2倍**
- ・本市のワークダイバーシティ事業を、この岐阜圏域で、**広域的に展開**することは、**より多くの働きづらさを抱える方々の就労につながり、その幸せに、大きく貢献できるのではないかと想定**
- ・昨年度、**6市3町の首長**で構成される、**岐阜地域広域圏協議会**に提案、そして賛同されたことにより、**本年4月、圏域で協定を締結し、「WORK! DIVERSITY実証化モデル事業」と「超短時間雇用創出事業」を広域的に展開**

○広域化の取り組み

- ・これらの事業の周辺市町との広域的な展開は、**先進的な取り組み**

- ・それぞれの具体的な取り組み

「WORK! DIVERSITY 実証化モデル事業」

広域的な支援機関と連携し

これまで、本市の就労支援プログラムを受けられなかった他市町の方にも、

リーチできる体制を構築

- ・「**超短時間雇用創出事業**」

賛同企業や就労希望者の増加に対応するため、

岐阜市超短時間ワーク応援センターに、コーディネーターを1名増員、

岐阜市を含めた周辺市町の**企業開拓**とともに、**マッチング**など手厚くサポート

- ・ワークダイバーシティ事業の広域化により、

「**就労を希望する人**」と「**働き手を求める企業**」の**選択肢が拡充し、**

市域を越え、多様な働き方が広がっていくことを期待



1-(4) ふるさと納税返礼品・ぎふ長良川花火大会応援席チケットについて

1 席種及び料金

第4回ぎふ長良川花火大会（8月8日（土）開催）

全19種類の応援席のうち、自由席を除く18種類をふるさと納税返礼品として取扱。

○ぎふ長良川花火大会 応援席（岐阜市のふるさと納税返礼品）一覧

NO	ぎふ長良川花火大会応援席 ※ふるさと納税返礼品の場合は返礼品名	一般 販売額	ふるさと納税返礼品 としての寄附金額	ふるさと納税返礼品 としての準備数
1	指定席・最前列リクライニングシート(1名)	33,000円	114,500円	30席
2	指定席・最前列S席(1名)	14,000円	52,000円	85席
3	指定席・最前列A席(1名)	12,000円	45,500円	90席
4	指定席・2列目以降S席(1名)	10,000円	39,000円	135席
5	指定席・2列目以降A席(1名)	8,000円	33,000円	110席
6	指定席・B席(1名)	7,000円	29,500円	21席
7	指定席・視界良好ボックスシート(1~4名)	44,000円	151,000円	70セット
8	指定席・わいわいグループ席(1~6名)	33,000円	114,500円	120セット
9	指定席・わくわくピクニック席(1~4名)	32,000円	111,000円	8セット
10	指定席・らくらくテーブル席(1~3名)	24,000円	84,500円	50セット
11	指定席・プレミアムテーブル席(1~6名)	90,000円	304,500円	8セット
12	自由席・三脚持込可能エリア(1名)	12,000円	45,500円	50席
13	自由席・視界良好堤防道路S席(1名)	13,000円	48,500円	20席
14	自由席・視界良好堤防道路A席(1名)	11,000円	42,500円	20席
15	自由席・階段S席(1名)	7,000円	29,500円	50席
16	自由席・階段A席(1名)	6,000円	26,500円	150席
17	自由席・先行入場券付き席(1名)	5,000円	23,500円	200席
18	自由席(1名)	4,000円	—	—
19	団体席・花火観覧船席(15人乗り)	600,000円	2,004,500円	1セット(抽選)※
	団体席・花火観覧船席(4人乗り)	110,000円	371,000円	1セット(抽選)※
合計				1,219席・セット

※花火観覧船席は「一般販売商品として購入希望」、「岐阜市のふるさと納税返礼品として受領希望」の共通の募集枠として2セットを準備し抽選により決定

【参考】ふるさと納税返礼品取扱数
R7:12種類 → R8:18種類

2 購入方法

① 実行委員会によるチケットの販売

- ・ 市民先行抽選販売 5月16日(土)から6月12日(金)まで
- ・ 一般先着販売 7月8日(水)から8月8日(土)19時まで
- ・ いずれもチケットぴあにて申込を受付。

② ふるさと納税返礼品「ぎふ長良川花火大会 応援席チケット」

- ・ 申込期間 4月24日(金)から6月30日(火)まで
- ・ 申込窓口 ふるさとチョイス(※)、楽天ふるさと納税、ふるなび、Amazonふるさと納税、さとふる(パートナーサイト: Yahoo!ふるさと納税含む)の各サイト

※パートナーサイト

(auPAY ふるさと納税、セゾンのふるさと納税、ふるラボ、JRE MALL ふるさと納税、KABU&ふるさと納税、V ふるさと納税、マルイふるさと納税、まいふるふるさと納税、ケアネットふるさと納税、HIS ふるさと納税、ふるさと納税デパート、ニフティふるさと納税) 含む

③ 「花火観覧船席」

- ・ 各船1組限定の抽選販売であり、チケットぴあの特設サイトにて抽選申込を受付。
注) 花火観覧船席の抽選申込は、ふるさと納税のポータルサイトからは手続きができない
- ・ 抽選申込の際に、「一般販売商品として購入希望」もしくは「岐阜市のふるさと納税返礼品として受領希望」のどちらかを選択。
- ・ 抽選申込 受付期間 4月24日(金)午前10時から5月17日(日)まで
- ・ 抽選結果は5月20日(水)に通知。

